

令和4年11月10日発行

演劇・映画の専門図書館

# 松竹大谷図書館ニューズレター

No. 296(2022年11月)

## ■【第11弾】クラウドファンディング「歌舞伎記録映画『鏡獅子』4Kデジタル修復プロジェクト」が成立いたしました

9月6日より、クラウドファンディング「READYFOR」にて、当館へのご支援を募集しておりましたプロジェクト「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」が、10月26日(水)23時に50日間のスポンサー募集期間が終了しました。おかげさまで290名の方より、目標額400万円を上回る449万4千円のご支援をいただき、今回の第11弾プロジェクトが成立いたしました。



映画『鏡獅子』より六代目尾上菊五郎小姓弥生

**成立**  
衣紛上野初

【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。

武藤祥子(松竹大谷図書館)

#本・漫画・写真

112%

支援総額	支援者	終了日
4,494,000円	290人	10/26

プロジェクトページ成立画面

今回のプロジェクトのために温かなご支援を下された皆様、プロジェクトへの賛同の応援コメントや、当館スタッフへの励ましのメッセージを送って下さった皆様、プロジェクトページや当館のFacebookに「いいね！」をして下さった皆様、ご自身のSNSや様々なメディアで広め、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、プロジェクト中に松竹大谷図書館に直接応援に来て下さった皆様、ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

本プロジェクトのご支援(支援金)は、歌舞伎記録映画『鏡獅子』の4Kデジタル修復のための資金として使わせていただきます。そして記念すべき来年2023年の小津安二郎生誕120年には、鮮やかに蘇った4Kデジタル修復版『鏡獅子』を、多くの皆様にご覧いただけるよう励んでまいります。

今回の当館の活動を支えて下さいました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。今後も資料の整理・保存に努め、当館が所蔵する貴重な資料を皆様により活用していただけるよう、職員一同、図書館事業のさらなる充実を目指して努力を重ねて参ります。一層のご支援・ご協力を、何卒お願い申し上げます。

くわしくは下記URLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください。



<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan11>  
公式Facebookでも情報発信しております  
[https://www.facebook.com/Shochikuotani\\_toshokan/](https://www.facebook.com/Shochikuotani_toshokan/)

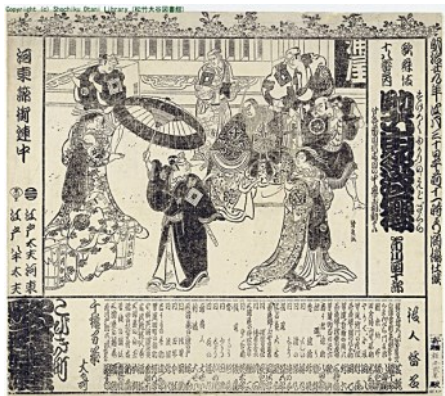
### 目次:

【第11弾】クラウドファンディング「歌舞伎記録映画『鏡獅子』4Kデジタル修復プロジェクト」が成立いたしました	1
第94回所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」	2
資料をご寄贈くださった方々	2
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
休館のお知らせ	4
利用案内	4

## ■第94回所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」

展示期間:2022/10/28-12/23 於 閲覧室

10月28日より閲覧室所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」が始まりました。現在歌舞伎座で公演中の「十三代目市川團十郎白猿襲名披露」を記念し、近代の團十郎のあゆみを当館所蔵資料でご紹介しております。「劇型」と称された九代目團十郎から、歌舞伎十八番の復活上演という足跡を残した十代目、「海老さま」として熱狂的な人気を博した花の十一代目、大らかな魅力あふれる十二代目まで、舞台写真や台本、プログラムなどを中心に展示しています。



辻番付 歌舞伎十八番の内 助六由縁江戸桜  
明治29年(1896)年4月30日より6月1日  
歌舞伎座上演

展示の見どころのひとつとして、通常は資料保護のため原物を閲覧に供していない貴重資料の明治期の辻番付3点を期間中、展示替えをしながらご覧いただきます。辻番付とは現在のポスターにあたる資料です。11月17日まで展示する資料は、明治29年4月30日より歌舞伎座で上演された『歌舞伎十八番の内 助六由縁江戸桜』の辻番付で、九代目團十郎が一世一代で助六を演じた時のものです。11月18日からは『新歌舞伎十八番の内 紅葉狩』、12月2日からは『歌舞伎十八番の内 勸進帳』を展示予定です。本物の番付をご覧いただく機会は少ないため、ぜひ間近でじっくりとご鑑賞ください。

当館は江戸末期からの「芝居番付」約5千枚を全てデジタルアーカイブ化し、戦前までの番付を当館HP内デジタルアーカイブの検索閲覧システムで公開しており、画像を検索・閲覧可能です。拡大して大きく表示することもできますのでぜひお試しください。

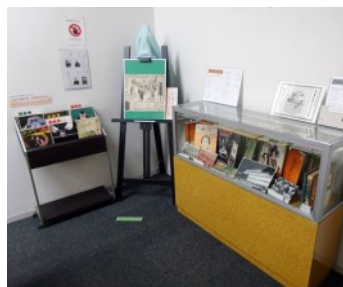
▽【芝居番付検索閲覧システム】

[http://www.dh-jac.net/db1/ban/search\\_shochiku.php](http://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php)

また今回の展示では、展示スペース横に「歌舞伎雑誌『演劇界』で振り返る近代の團十郎」と題したコーナーを設けました。市川團十郎特集が掲載されている過去の『演劇界』を展示資料閲覧席にてご自由にお読みいただけます。十一代目團十郎襲名、十二代目團十郎襲名の特集では、襲名興行の様子などを詳細に紹介しており、「世紀の襲名」といわれた当時の世相をうかがい知ることができます。

展示はご予約なしでご覧いただけますが、台本やプログラム、図書などを閲覧したい方は閲覧室内のお席をおとりしますので、前日までに電話でのご予約をお願いいたします。皆さまのご来館をお待ちしております。

展示資料一覧【九代目團十郎関連資料】[番付]『歌舞伎十八番の内 助六由縁江戸桜』明治29年4月30日より6月1日歌舞伎座(展示期間:10/28~11/17)『新歌舞伎十八番の内 紅葉狩』明治32年11月歌舞伎座(展示期間:11/18~12/1)『歌舞伎十八番の内 勸進帳』明治32年4月歌舞伎座(展示期間:12/2~12/23)【絵葉書(昭和7年追善興行の際に発行)】『歌舞伎十八番の内 勸進帳』明治23年5月新富座/『歌舞伎十八番の内 暫』明治28年11月歌舞伎座/『歌舞伎十八番の内 助六由縁江戸桜』明治29年4月歌舞伎座【筋書】『團十郎文化切手発行記念大歌舞伎』昭和25年10月東京劇場【十代目團十郎関連資料】『歌舞伎十八番の内 解脱』筋書 昭和7年11月歌舞伎座/『歌舞伎十八番の内 解脱』警視庁検閲台本 昭和7年11月歌舞伎座/『劇聖團十郎五十年祭大歌舞伎』筋書 昭和28年10月歌舞伎座/『劇聖團十郎五十年祭大歌舞伎』口上写真 昭和28年10月歌舞伎座【十一代目團十郎関連資料】『九世市川高麗蔵襲名披露挨拶状』昭和4年4月帝国劇場/『歌舞伎十八番の内 ういらう』台本(川尻清澤自筆)昭和15年5月歌舞伎座/『幕間』昭和34年11月号/『十一代目市川團十郎襲名披露』筋書 昭和37年4月歌舞伎座/『十一代目市川團十郎襲名披露』写真 昭和37年4月歌舞伎座/『十一代目市川團十郎襲名披露』チケット袋 昭和37年4月歌舞伎座/『市川團十郎の菜』昭和37年4月歌舞伎座【十二代目團十郎関連資料】『十二代目市川團十郎襲名披露顔寄せ手打式』写真 昭和60年3月29日歌舞伎座/『十二代目市川團十郎襲名披露口上』台本 昭和60年4月歌舞伎座/『十二代目市川團十郎襲名披露口上』写真 昭和60年4月歌舞伎座【團十郎関連図書】【九代目】『市川團十郎乃代々下巻』伊原青々園(編)/『団州百話』松居松葉(編)/『九代目團十郎と私』市川翠扇(著)【九代目、十代目】『九代目市川團十郎 九世團十郎を語る』市川三升(著)【十一代目】『市川海老蔵舞台写真集』関逸雄(編)【十二代目】『襲名記念 市川團十郎』



### 閲覧室ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」

展示期間: 2022年10/28(金)~12/23(金)/時間: 平日10時~17時/休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日/※11/22(火)は創立記念日のため休館いたします/展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます/松竹大谷図書館 TEL:03-5550-1694(平日:10時~17時)

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

## 資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2022年8月-9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、榎原志げ子、早稲田大学演劇映像学会、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、世田谷文学館、シナリオ・センター、御園座演劇図書館、公益社団法人日本演劇協会、国立劇場、樽松大剛、有限会社合同通信社、文学座、キネマ旬報社、博物館明治村、劇団青年座、劇団俳優座、株式会社カモミール社テアトロ編集部、邦楽の友社、協同組合 日本映画撮影監督協会、公益社団法人日本照明家協会、神戸女子大学古典芸能研究センター、近代映画社、一般社団法人日本民間放送連盟、シアタークリエ、銀座 博品館劇場、国立映画アーカイブ、こまつ座、丸善出版株式会社、東宝株式会社映像事業部、おとなのデジタルTVナビ編集部、東京都江戸東京博物館、帝国劇場、銀座百店会、BS松竹東急、日本映画テレビプロデューサー協会、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、若林さだ吉、株式会社日本舞踊社、愛知芸術文化センター、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、劇団民藝、公益社団法人日本劇団協議会、関西学院大学 文化総部 古典芸能研究部OB会、公益財団法人日本近代文学館、株式会社オフィスタカヤ、博多座、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部

どうもありがとうございました

## 新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系10月演劇公演資料		○ … 受入済			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『鬼揃紅葉狩』	○	○		
	『荒川十太夫』	○	○		
	『祇園恋づくし』	○	○	○	○
	『釣女』	○	○		
	『源氏物語 夕顔の巻』	○	○		
	『盲長屋梅加賀齋』	○	○		
	『神歌』				
	『市川海老蔵改め十三代目市川團十郎白猿襲名披露行顔寄せ手打式』				
新橋演舞場	『勸進帳』	○			
	『女の一生』	○		○	○
平成中村座	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○			
	『極付幡随長兵衛』	○		○	
	『綾の鼓』	○			
	『唐茄子屋 不思議国ノ若旦那』	○			
南座	『えくぼ』	○			
	『(映像) 藤山寛美 愚面影』				○
松竹座	『はなのお六』	○			
	『時超輪廻古井処』	○		○	
御園座	『サラリーマンナイトフィーバー』	○		○	
	『口上』	○			○
	『本朝廿四孝 十種香・狐火』	○			

紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム、台本/『アサルトリリィ×私立ルドビコ女学院 LIVE SHOW』博品館劇場プログラム/『PIANIST』博品館劇場プログラム/『第44回邦楽公演』国立文楽劇場プログラム/『第167回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/『第328回歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/『第28回稚魚の会・歌舞伎会』国立劇場小劇場プログラム/『第170回舞踊公演』国立劇場大劇場プログラム/『第221回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム、床本

◆**映画資料** 『耳をすませば』台本、プレス、ポスター、プログラム/『銀河英雄伝説 Die Neue These 策謀 第二章』プログラム

◆**映画プログラム** (順不同) 『宇宙戦艦ヤマト』という時代 西暦2022年の選択 『宇宙戦艦ヤマト2205 新たなる旅立ち 前章 TAKE OFF』 『天才ヴァイオリニストと消えた旋律』 『カメの甲羅はあばら骨』 『ロード・オブ・ザ・リング 二つの塔』 『ロード・オブ・ザ・リング 王の帰還』 『クリエイション・ストーリーズ 世界の音楽シーンを塗り替えた男』 『桜色の風が吹く』 『スペンサー ダイアナの決意』 『ぼくらのよあけ』 『アフター・ヤン』 『線は、僕を描く』 『ソングバード』 『バッドガイズ』 『七人の秘書 THE MOVIE』 『四畳半タイムマシンブルース』

◆**演劇雑誌** (順不同) 『Bunkamura magazine』 No. 204-No. 206/ 『Confetti』 2022年November/ 『JATET』 No. 91/ 『SePT倶楽部 information』 2022年10月号/ 『act guide [アクトガイド]』 2022 Season 13/ 『the座』 115号/ 『あぜくら』 2022年10月号/ 『こてん』 25号/ 『ほうおう』 2022年12月号/ 『テアトロ』 2022年11月号/ 『ラ・アルプ』 2022年11月号/ 『劇評』 令和4(2022)年10月/ 『国立演芸場公演ガイド』 令和4年11月号/ 『大向う』 令和4年11月号/ 『日本芸術文化振興会ニュース』 2022年11月号/ 『日本照明家協会誌』 2022年10月号/ 『日本舞踊』 74巻11月号/ 『悲劇喜劇』 2022年11月号/ 『邦楽の友』 令和4年11月号

◆**映画雑誌** (順不同) 『FLIX』 2023年12月号/ 『NFAJニューズレター』 18号/ 『NFAJプログラム』 No. 41/ 『SCREEN』 2022年12月号/ 『TVガイド』 2022年10/14号, 10/21号, 10/28号/ 『おとなのデジタルTVナビ』 2022年12月号/ 『キネマ旬報』 2022年10月下旬号, 11月上旬号, 11月下旬号/ 『シナリオ』 2022年12月号/ 『シナリオ教室』 2022年11月号/ 『ドラマ』 2022年11月号/ 『ピクトアップ』 2022年12月号/ 『映画テレビ技術』 2022年10月号, 11月号/ 『映画時報』 2022年10月号/ 『日経エンタテインメント!』 2022年11月号/ 『文化通信ジャーナル』 2022年11月号

◆**他社演劇公演資料 (2022年8月-10月)** (順不同) 江戸糸あやつり人形結城座『醜の母』 ザムザ阿佐谷プログラム/ オフィスコットネブデュース『加担者』 下北沢駅前劇場プログラム/ 劇団昴『評決』 俳優座劇場プログラム/ 劇団チョコレートケーキ『無畏』 東京芸術劇場シアターウエストプログラム/ はんなりラヂオプロデュース『はんなり☆夏語り 久』 赤坂RED/THEATERプログラム/ 『第八十一回珠實会』 国立劇場小劇場プログラム/MODA・MAP『Q:A Night At The Kabuki』 東京芸術劇場プレイハウスプログラム/ 猿之助と愉快な仲間たち『七川劇団リターンズ 新説堀部安兵衛』 博品館劇場プログラム/ 『ミュージカル モダン・ミラー』 シアタークリエプログラム/ 『DREAM BOYS 2022』 帝国劇場プログラム/ 劇団民藝『忘れてもらうてよかとです』

## 新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『歌舞伎 寿会のみ歩み』 『若手歌舞伎』 『初代二代目中村吉右衛門の芸播磨屋物語』 『続映畫と批評』 『CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ』 『高倉健メモリーズ』 『内田裕也、スクリーン上のロックンロール』 『偽善への挑戦 映画監督川島雄三』 『かまくら谷戸の風』 『灘千造シナリオ作品集』 『1986年の劇場あらし』 『築地演劇論』 『維新派・松本雄吉』 『蛙の放送』 『イッセー尾形のつくり方ワークショップ 土地の力「田舎」テーマ篇』 『ひとり上手』 『築地の魅力再発見!』 『大石内蔵助とその一族 赤徳大石神社特別展』 『鳥居清長 江戸のヴィーナス誕生』 『パウホールグラフィティ 2005年・パウホール5組連作公演特集』 『ザ・タカラヅカIV月組特集』 『知らない顔 細野晋司写真集』 『連続シンポジウム「劇場文化と観客創造」事業報告書』 『永楽館歌舞伎』 『国際演劇交流セミナー2019』 『国際演劇交流セミナー2020』 『ジャポニスム 2018:響きあう魂 事業報告書・写真集・劇評集』 『ニコニコ超会議 NICONICO CHOKAIGI 2012-2016』 『紋下の家 竹本津太夫家に伝わる名品』 『歌舞伎の課題と将来』 『公開シンポジウム「国性爺合戦と鄭成功 東アジアの視点からみたドラマトゥルギー」レポート』 『歌舞伎への誘い 日本人を魅了した、400年の伝統と革新の世界』 『小豆島農村歌舞伎 国選抜無形民俗文化財調査報告書』 『六世中村歌右衛門展』 『歌舞伎舞台スケッチ画集の編集を終えて スケッチと文』 『大学で映像クリエイ』

ターは育つのか? ハリウッドと日本の現場から 早稲田大学川口芸術学校シンポジウム報告書』 『劔岳点の記オフィシャルガイドブック』 『仁義なき戦い100の金言』 『ReLIFEリライフ ぴあ アニメ公式ガイドブック』 『日本映画作品大事典』 『消えた映画館を探して おかやま、昭和の記憶』 『アメリカン・ニューシネマ70年代傑作ポスター・コレクション ポスター・アートで見るアメリカの肖像』 『新東宝1947-1961 創造と冒険の15年間』 『私映画 小津安二郎の昭和』 『監督成瀬巳喜男 全作品と生涯』 『森田芳光全映画』 『小津安二郎 晩秋の味』 『大林宣彦メモリーズ』 『寅さんの「日本」を歩く 一番詳しい聖地探訪大事典』 『寅さんの「日本」を歩く2 もっと、もっと詳しい聖地探訪大事典』 『日本史「今日は何の日」事典 367日+360日・西暦換算併記』 『江戸歌舞伎の情報文化史』 『大島渚全映画秘蔵資料集成』 『映画人が語る日本映画史の舞台裏 配給興行編』 『映画人が語る日本映画史の舞台裏 撮影現場編』 『課題解決のための専門図書館ガイドブック』 『花街と芸妓・舞妓の世界 継がれゆく全国各地の芸と美と技』 『煤茂都流沿革』 『舞踊年鑑 2021』 『演劇年鑑 2022』 『THEATRE YEAR BOOK 2021』 『THEATRE YEAR BOOK 2022』 『国際演劇交流セミナー2021』

